

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	現在、物理的な身体拘束はないが精神的な拘束や言葉による拘束についての意識が低い。	どんな場面が精神的な拘束や言葉による拘束なのかを考えながら全職員共通の認識でケアに取り組んでいく。	具体的によくある職員の言動(ケアの場面)を検証していく。	6ヶ月
2	52	利用者は常に職員に見られているという事を職員が意識していなかった。 職員の視線や振る舞いで圧迫感を与えてしまっているかもしれないことを意識していなかった。	圧迫感のない生活、安楽な生活の実現するため職員の行動を考える。	職員同士の話し合いは利用者が聞いているかもしれないと意識し見えないところで行う。 利用者がゆっくり過ごしている場に職員も利用者のように溶け込む。	3ヶ月
3	35	非常災害時の備蓄を用意できていない。	非常災害時の備蓄を用意する。	水や食料の非常災害時の備蓄を購入し確保しておく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。